

北海道大学シラバス							
科目名							
社会の認識							
講義題目							
証券投資と金融リテラシー							
責任教員（所属）							
亀岡 典之（大学院経済学研究院）							
担当教員（所属）							
亀岡 典之（大学院経済学研究院）							
科目種別		全学教育科目(主題別科目)		他学部履修等の可否		可	
開講年度		2025	期間		2 学期	時間割番号	
授業形態		講義	単位数		2	対象年次	1～
対象学科・クラス		基礎1-53組			補足事項		
ナンバリングコード		GEN_LIB 1230					
大分類コード		大分類名称					
GEN_LIB		全学教育（教養科目）					
レベルコード		レベル					
1		全学教育科目（語学上級科目、高年次対象科目を除く）					
中分類コード		中分類名称					
2		主題別科目					
小分類コード		小分類名称					
3		社会の認識					
言語							
日本語で行う授業							
実務経験のある教員等による授業科目							
該当する							

■ キーワード

証券投資、資産形成、NISA、金融商品（株式・債券・投資信託等）、証券市場、証券会社、証券取引所、地域経済と金融

■ 授業の目標

本科目は、日本証券業協会の協力により開講されるものであり、金融・証券市場に関する有識者、行政機関における実務担当者等の専門性を有するゲスト講師がオムニバス方式による講義を行う。

現在の経済社会において、証券市場は企業等の資金調達のある場であると同時に、中長期的な資産形成を促進する上でも重要な社会的・経済的インフラとなっている。

本科目では、証券市場を活用した投資・資産形成を図る上で必要な金融リテラシーを身につけるとともに、我が国の証券市場の仕組みや意義・役割等について基本的な知見を習得することを目的としている。

■ 到達目標

- 1.証券市場の仕組みや意義・役割、投資や資産形成に関する基本的な事項を理解し、自らの言葉で説明することができる。
- 2.証券会社や証券取引所の業務について理解し、自らの言葉で説明することができる。
- 3.証券市場を巡る最近の環境変化や、地域経済において金融が果たす役割について理解し、自らの言葉で説明することができる。

■ 授業計画

各回の講義内容は、概ね以下のとおり。

- 1.サステナブル・ファイナンス
- 2.地域経済活性化と地方証券取引所
- 3.証券取引等監視委員会の役割等
- 4.デリバティブ取引の意義と役割
- 5.債券市場と債券投資
- 6.財務諸表監査の意義と役割
- 7.会社分析方法と市場区分見直し後の対応
- 8.銀証連携と地場証券
- 9.創業から上場に至るまでの軌跡
- 10.証券業界と基礎知識と最近トピック
- 11.資産形成に関する税制
- 12.投資・資産形成と金融リテラシー
- 13.日銀政策と地域金融機関の動向
- 14.投資者保護基金制度
- 15.金融商品取引に関する契約と消費者トラブル

以上のテーマを予定しているが、講義の進行状況によって順序を変更したり、時事の進展等を鑑みて、他のテーマを取り上げることがあり得る。

■ 準備学習(予習・復習)等の内容と分量

毎回、講義で取り扱うテーマごとに説明資料を配布する。

受講に当たっては、日頃から新聞・ニュース等の経済社会記事に目を通す習慣を身に付け、金融・証券と経済社会との関係を意識するよう努めること。

■ 成績評価の基準と方法

成績評価の基準は、授業におけるアンケートの回答状況及び回答内容に加え、期間中に課されるレポート課題によって評価を行う。

成績評価の方法は、アンケートの回答状況及び回答内容（50%）、及びレポート（50%）により評価する。

■ 有する実務経験と授業への活用

金融・証券市場に関する有識者、行政機関における実務担当者等の専門性を有するゲスト講師がオムニバス方式による講義を行う。

■ 他学部履修の条件

■ テキスト・教科書

■ 講義指定図書

■ 参照ホームページ

[日本証券業協会 www.jsda.or.jp/](http://www.jsda.or.jp/)

■ 研究室のホームページ

■ 備考

■ 更新日時

2025/09/11 15:48:01

■ 授業実施方式

対面授業科目《一部遠隔》